

# 17 眼科フェロー研修要綱

指導責任者 都築 欣一

## 1. 期間

令和3年4月～

## 2. 研修目標

眼科、特に小児眼科領域の診察・検査・診断・治療について知識を深める  
外来診察・手術介助に必要な技術を習得する

## 3. 研修内容

外来検査・診察、病棟での術前術後管理に参加する  
手術の介助を行う

### 外来研修

主に外来診療の見学・検査の介助を通して基本的な検査法を理解する  
単独で基本的疾患の外来診療を行うことができることを目標とする

- ・基本的な検査法の理解  
(視力検査、屈折検査、眼位検査、眼球運動検査、両眼視機能検査など)
- ・基本的な小児眼科疾患の理解  
(弱視、斜視弱視、不同視弱視、屈折異常弱視、形態覚遮断弱視、乳児内斜視、調節性内斜視、間歇性外斜視、上下斜視、交代性上斜位、上斜筋麻痺、下斜筋過動、偽斜視、Duane 症候群、眼位性眼振、先天白内障、先天緑内障、先天性眼瞼下垂、先天性鼻涙管閉塞など)
- ・外来診療に必要な基本的な診察技術の習得  
(細隙灯検査、眼底検査、検影法など)
- ・基本的な小児眼科疾患の診断と治療方針を理解し、判断ができる
- ・小児・保護者に対する応対・説明の仕方を学び、実践する
- ・基本的な視能矯正訓練の理解  
(屈折矯正、遮蔽法、プリズム治療など)

### 病棟・手術研修

手術の介助・病棟診療に参加し、基本的な診断・治療方針を理解する  
小児眼科疾患についての理解を深める

- ・手術の適応・基本的な術式の理解・術式の選択の理解  
(後転法、前転法、斜筋手術、挙筋短縮術など)
- ・術前検査、術後管理の理解
- ・基本的な治療方針を理解